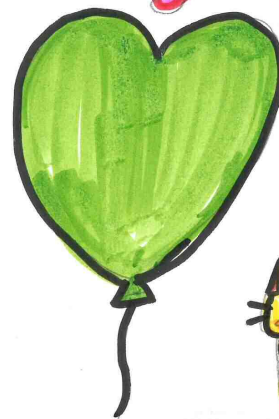


あな みずまち

☆ 穴水町

の

みりょく



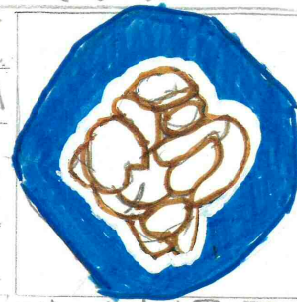
作：向洋小6年生一同

1度食べるととまらない 穴水グルメ



カキは冬が旬です。穴水のカキは他に比べて小つぶであさりとしていて何個でも食べれます。おすすめは焼きガキや蒸しがキがとってもおいしいです。

なまこは大寒のころが旬です。なまこはコリコリしたところが特においしいです。さしみやなまこ酢にして食べるともっとおいしくなります。



いさざは春の風物詩です。いさは、生きたまま酢醤油につけて食べる。おどろいしが有名です。また、卵とじにして食べるのもおいしいです。



のとまりはしいたけのブランド品で有名です。ぶつうのしいたけのサイズよりのとまりは少し大きいです。そのまま焼いて食べてもおいしいです。



かぶり寿司は曾良で古くからつくられてきた冬の味覚です。大きなかぶにさばをはさんで麴で漬けて発酵させてつくることが出来ます。私達も冬に食べるかぶり寿司が大好きです。

能登ワインは能登産のぶどうだけを使っています。広い畑でぶどうをつくっています。飲みやすく何にでも合います。高級品で観光客にも人気です。



日本三大珍味のこのわたとからすみ

日本三大珍味の3つのうち2つのこのわたとからすみを知っていますか。実はこのわたとからすみは、この穴水町で食べることが出来ます。このわたはなまこの腸の塩辛です。からすみは、ボラの卵を加えたものです。2つとも三大珍味といわれるほどとてもおいしいのでぜひ食べてください。



からすみ このわた

祭り

迫力満載！キリコ祭り

明千寺キリコ祭り (8/5・16)

穴水町明千寺地区

穴水町で一番大きい高さを誇るキリコです。昔は6基出ていたが、人が減り1基になりました。



人
と
比
べ
る
と
大
き
さ
が
わ
か
り
ま
す
!!
(2m)

前波曳山祭り (敬老の日 月直廟の土・日)

穴水町前波地区

祭りの初日はキリコが出ます。二日目は曳山でいなり神社まで縄で引っ張ります。



沖波大漁祭り (8/4・15)

穴水町沖波地区 (花火あり)

祭りの初日はキリコが町内をまわります。二日目は沖波土戸の浜に行き、キリコが海に入ります。



中居キリコ祭り (8月 最終土・日)

穴水町中居地区

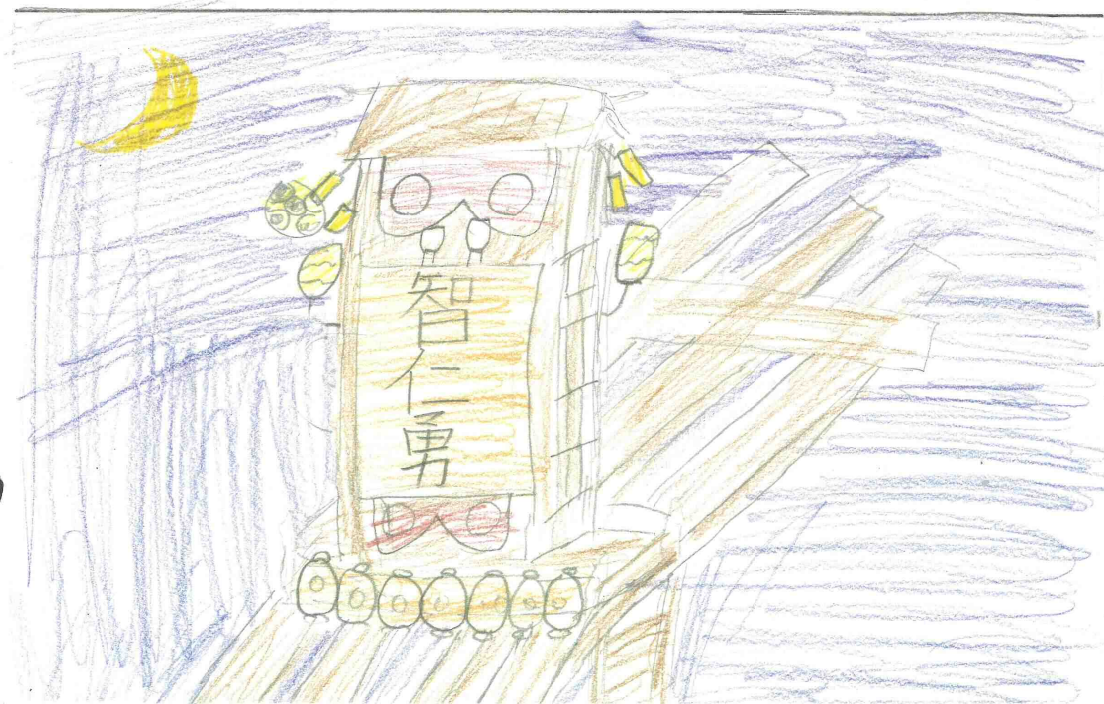
3基のキリコとみこしが地区の1軒1軒をまわり、各家で中居ばやしを歌います。



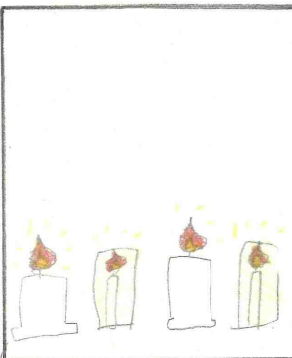
大町・川島祭り (9月 第2土曜)

穴水町市街地

キリコ1基と山車が出まわりの中で一番キリコが多いです。



春夏秋冬どの季節でもある行事



曾良の盆灯(8月)

穴水町曾良地区

たくさんの明かりを道路の端にかざたり、文字を書いたりしますとてもきれいです。

(2月9日)あえのこと

2回あり、田の神様をおもてなしする行事です。ユネスコ無形文化遺産に認定されています！



神様をおもてなし

小学生も参加



穴水音頭をおどります。

長谷部祭り(7月)

穴水町市街地辺り

長谷部信連公が家来達や奥方

若、姫を連れて町を歩きます。夜には花火が打ち上がります。みこしも出ます。

(10月) 磐持ち大会

穴水町下唐川地区

重い米俵を持ち上げてかくらべをして競います。



まいもんまつり

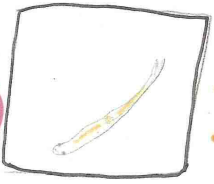
春はいさざ、夏はさざえ、秋は能登牛、冬はかきのそれぞれが味わえます！



いさざまつり ★春(3月中旬～4月中旬)

とれる時期

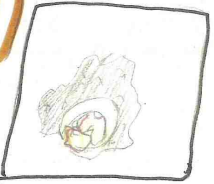
・いさざのおどろく
・いさざの卵とじ
・いさざのお吸い物



さざえまつり ★夏(6月中旬～7月中旬)

とれる時期

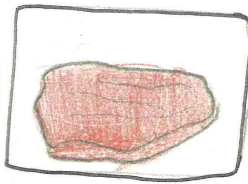
・さざえ割り
・さざえ酢物
・さざえっほ焼き など



牛まつり ★秋(10月上旬～10月下旬)

とれる時期

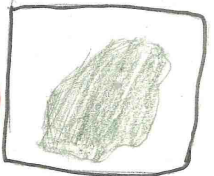
・牛シャブシャブ又はスキヤキ
・牛ステーキ
・ミニサラダ



かきまつり ★冬(1月上旬～3月下旬)

とれる時期

・焼きかき
・かきフライ
・西伝のかき/F スワ又はナユコ



見て、遊んで、楽しもう!!

穴水町 四大名所

8.4mの体がありなす 穴水町の新名所

能登大仏

左-写真1
大仏本体

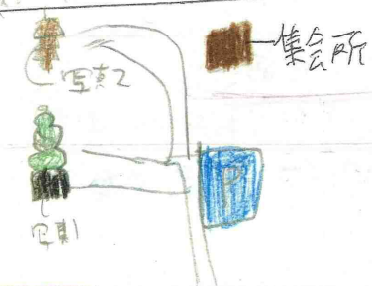
右-写真2
三重の塔

これまで、
テレビなど



でしかいさなてこなから、た新名所があるのをこそんじてたか?
それがこの 能登大仏 だ。この大仏のよちはなんといても
緑色というところ。近年になてイ作られたものなので、また

大仏 MAP



体は緑色です。そして、約17mほどある三重の塔は、さんぱいをするこができます。ちかくにも手打ちそば屋があるので、あなかがすいた時でも大丈夫です。

関連

場所 穴水町字乙ヶ崎申66
電話番号 0768-52-3790 (穴水町観光交流推進室)
料金 参拝無料
駐車場数 20台

楽しむ
♪

歩いてよし! 釣ってもよし!
なんともありの2kmの道

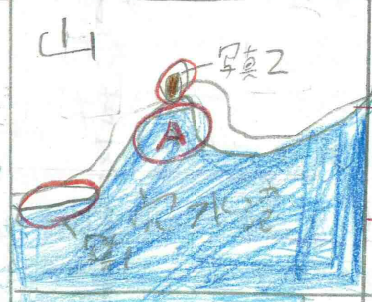
潮騒の道



左-写真1 しゃおの道
右-写真2 解体記念碑

穴つきは、1本も使って楽しむ所
ちんとあります。

この潮騒の道は、ウォーキングお釣りスポットとして有名な所で、時
ウォーキング大会を開きしています(おしくは市のホームページを
海月騒の道、MAPコリ)。また、この入り江には、たくさんのが



かいるので、釣りめ好きなたちにはオス
Xです(A部分かといにいます)。さらに、山側
にはめずらしい木世物が、さいていて、説明
もついています。往復4kmなので、マラソ
練習にも最てきて。

悲しいお知らせ

海月騒の道 1km地点にあつた
ボラ待ちやぐら、昨年の台風でこわれて解体されました。
1km地点には、解体記念碑があります(写真2)。

⚠ 注意事項

満潮になると(写真1)、下の道が浸水するので、ニュースで
干満情報を確認してください。

場所 穴水町 川島

電話番号 0768-52-3790 (穴水町観光交流推進室)
料金 無料
駐車場数 5台

平安時代の仏像におもむきを感じる



見る

白雉山 明泉寺



石製の五重のとう

この明泉寺は、あの西国三十三ヶ所の一つでもあります。この明泉寺に来たらずい見てほしいのが、写真の五重のとう、大仏です。まず五重のとうは、日本でも二つしかない、木製ではなく、石で出来ている五重のとうです。

ふつうの五重のとうは、高さ10mで、見るというです。次に、大仏ですが、この大仏は、平安時代に目が見えないおききか、明泉寺の水で目を毎日洗うと、目が見えたという昔話で、そのおききか、夫にたのんで、大仏を建てたと言われています。ここで気をつけていたた



きたいのが「か」です。明泉寺はたくさんの草木でかまわているので、虫よけスプレーをじさんして欲しいです。上に行く、自転車のちうりん車があるので（左参道）、ここにとめてください。

追加情報

日腹寺の大仏は、現存修復中のため、見ることができません（2016年7月現在）。工事は10月中旬にたおわるので、もう少しおまちください。

関連

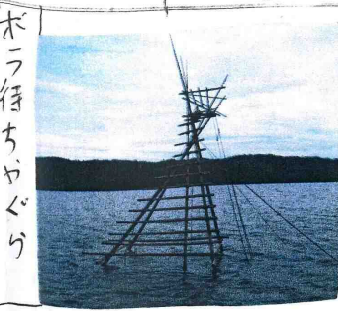
時刻 9~17時（12~2月は~16時）
場所 穴水町明泉寺ル-18-1

日本最古の漁法、あと世でも原形をとどめる



見る

中居湾ふれあいパーク



このふれあいパークの最大の持ち物は、何としても写真のボラ待ちやぐらです。ボラ待ちやぐらは、やぐらの上から海底に張ったフクロおみを見張り、ボラの群れがおみに入ると、フクロおみを船と協力してたぐり上げてとるというのんびりした手法で、「穴水音頭」にも

そのふりつけがあります。1889年には、米国の天文学者である、ハーシュ・ローエル（1855~1916）は、糸行女（NOTO）に、ボラ待ちやぐらのことを、「創世紀に出てくるノアの洪水



以前に在った掘立て小屋の骨組みを、これも有史以前の伝説によつて、鶏（トウ）が巣に選んだ場所」と形容しています。ボラ待ちやぐらは穴水町のシンボル！ぜひとも足を運んでみてください。

追加情報

中居湾のボラ待ちやぐらは、大雪のため、少し屋根がこわれています（2016年7月現在）。さういには向いていないので、ご了承ください。

関連

場所 穴水町 穴水良
電話番号 0968-52-3790（穴水観光交流推進室）
駐車台数 15台